

社会資本総合整備計画 事後評価書

平成 26 年 10 月 20 日

計画の名称	関市における循環のみちの実現		
計画の期間	平成22年度 ～ 平成25年度 (4年間)	交付対象	関市
計画の目標	下水道整備を行い、安全・安心、快適な暮らしを実現し、良好な環境を創造する。		

計画の成果目標 (定量的指標)	①重要な処理施設の耐震対策実施率を60%(H22)から100%(H24)に増加させる。 ②良好な水環境創出のための高度処理実施率を0%(H22)から37%(H25)に増加させる。 ③下水道関処理区における施設の長寿命化計画策定率を0%(H22)から100%(H25)にさせる。 ④下水道地震対策計画に位置付けられた避難所におけるマンホールトイレの設置率を0%(H23)から100%(H24)にする。(その他関連事業含む)
-----------------	---

定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値			備考						
	当初現況値 (H22当初)	中間目標値 (H24末)	最終目標値 (H25末)							
① 重要な処理施設・ポンプ場の耐震対策実施率 地震対策完了済み施設(施設数) / 地震対策を実施すべき施設(施設数)	60%	100%	100%							
② 良好な水環境創出のための高度処理実施率 高度処理が実施されている区域内人口(人) / 高度処理を導入すべき処理場に係る区域内人口(人)	0%	37%	37%							
③ 関処理区における施設の長寿命化計画策定率 長寿命化計画を策定済み処理区数(処理区数) / 長寿命化計画を策定すべき処理区数(処理区数)	0%	100%	100%							
④ 下水道地震対策計画に位置付けられた避難所におけるマンホールトイレ設置率 マンホールトイレ設置済み数 / マンホールトイレを設置すべき数	0%	100%	100%							
全体事業費	合計 (A+B+C)	2,196百万円	A	2,196百万円	B	— 百万円	C	0百万円	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C)	0.0%

事後評価

○事後評価(中間評価)の実施体制、実施時期	
事後評価(中間評価)の実施体制	事後評価(中間評価)の実施時期
関市水道部にて実施	事後評価(平成26年度9月)
	公表の方法
	市ホームページ

1. 交付対象事業の進捗状況

交付対象事業																
A 下水道事業																
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	事業及び 施設種別	省略 工種	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間(年度)				全体事業費 (百万円)	備考
											H22	H23	H24	H25		
No.1 関処理区																
A1-1-1	下水道	一般	関市	直接	関市	水処理	改築	関市浄化センター処理施設耐震補強・改築更新(水質保全)	2系水処理施設	関市					1,760	地震
A1-1-2	下水道	一般	関市	直接	関市	水処理	改築	関市浄化センター水処理施設改築更新(水質保全)	受変電・自家発電設備	関市					134	
A1-1-3	下水道	一般	関市	直接	関市	汚泥処理	新設	関市浄化センター汚泥濃縮施設(資源循環)	汚泥濃縮設備(30m ³ /h)	関市					200	
A1-1-4	下水道	一般	関市	直接	関市	ポンプ場	改築	小屋名中継ポンプ場耐震補強・改築更新(地震対策)	地震対策・改築更新	関市					60	地震
A1-1-5	下水道	一般	関市	直接	関市	水処理・汚泥処理	改築	長寿命化調査・計画策定(長寿命化・処理場)	調査・計画策定	関市					10	長寿命化
A1-1-6	下水道	一般	関市	直接	関市	汚水	改築	長寿命化調査・計画策定(長寿命化・管路)	調査・計画策定	関市					26	長寿命化
A1-1-7	下水道	一般	関市	直接	関市	汚水	新設	マンホールトイレ設置(地震対策)	避難所マンホールトイレ(1箇所)	関市					6	地震
											小計(下水道事業)		2,196.0			

B 関連社会資本整備事業																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	省略工種	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積・水深等)	市町村名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	備考	
										H22	H23	H24	H25				
合計																	

番号	一体的に実施することにより期待される効果															備考

C 効果促進事業																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	省略工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	備考	
										H22	H23	H24	H25				
合計																	

番号	一体的に実施することにより期待される効果															備考

その他関連する事業																	
事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	省略工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	備考		
									H22	H23	H24	H25					
関、小金田、田原処理区																	
A'	下水道	一般	関市	直接	関市	新設	マンホールトイレ設置(地震対策)	避難所マンホールトイレ(9箇所)	関市							77.3	関市地震対策整備事業(全国防災)
C'	下水道	一般	関市	直接	関市	地震対策・資機材整備	地震時応急対策用組立式簡易トイレ整備	組立式簡易トイレ 72組	関市						7.3		

A'	77.3 百万円	B'	-百万円	C'	7.3百万円	(C+C') / (A+A')+(B+B')+(C+C')	0.3%
----	----------	----	------	----	--------	-------------------------------	------

※交付対象事業については、できるだけ個別路線ごとに記載すること。

2. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況

I 定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	<ul style="list-style-type: none"> ・下水道整備を行い、安全・安心、快適な暮らしを実現し、良好な環境を創造できる。 ・関処理区：処理場施設(2系水処理施設 1式)について、耐震補強及び老朽化した機械・電気機器の更新を行うと共に高度処理化を行った。 ・ポンプ場施設(小屋名中継ポンプ場 N=1箇所)について耐震補強を行った。また、マンホールトイレ(10箇所)の設置が完了した。 ・関処理区の施設の長寿命化計画の策定を行った。 				
II 定量的指標の達成状況	指標①(重要な処理施設・ポンプ場の耐震対策実施率)	最終目標値	100%	目標値と実績値	
		最終実績値	100%	に差が出た要因	
	指標②(良好な水環境創出のための高度処理実施率)	最終目標値	37%	目標値と実績値	
		最終実績値	37%	に差が出た要因	
	指標③(関処理区における施設の長寿命化計画策定率)	最終目標値	100%	目標値と実績値	
		最終実績値	100%	に差が出た要因	
	指標④(地震対策計画に位置付けられた避難所におけるマンホールトイレ設置率)	最終目標値	100%	目標値と実績値	
		最終実績値	100%	に差が出た要因	
III 定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況 (必要に応じて記述)					

3. 特記事項(今後の方針等)

・今後増大する施設ストックの適切な管理、予防保全型の維持管理を図るため、下水道施設の長寿命化計画に基づき改築を進めていく。